

日本万国博覧会開催40周年記念事業

「カルチャーウェアとディアスポラ・ミュージアム」第2回国際会議

# Culture Wear

文化と心を身にまとう

国際研究フォーラム **ディアスポラにみる文化の融合**  
— 民族衣装・ファッション・カルチャーウェア

日時：2010年 **8月27日(金) 10時(受付)～17時45分**  
**8月28日(土) 10時30分～17時**

場所：国立民族学博物館 第4セミナー室 使用言語：日本語・英語・韓国語(同時通訳有り)

解説付きショー **カルチャーウェア 文化と心を身にまとう**

日時：2010年 **8月29日(日) 13時30分～15時**

場所：国立民族学博物館 講堂

参加料：無 料 (ただし、本館展示をご覧になる方は観覧料が必要です)

主催：大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立民族学博物館

協力：East Rock Institute 誠信女子大学 Parsons The New School for Design

助成：独立行政法人 日本万国博覧会記念機構

「カルチャーウェア」とは衣服を通して、文化と心を身にまとい、文化意識を高め、異文化交流を促進する国際的なムーブメントです。

韓国出身で米国在住の高(全)恵星氏が提案し、世界各国から米国に移民してきた人々が母国から持ってきた衣服を素材に、民族美のエッセンスとモダンデザインとを融合させ、新たに子供服を創造しました。これは、ある種のリサイクル運動であると共に、最先端の文化交流を通して世界中の青少年や地域コミュニティの文化的能力を高めるといった、文化教育プロジェクトでもあります。今回は、国際研究フォーラムにおいて、「カルチャーウェア」の民族学的意味について国内外の専門家が議論を重ね、移民・移住による異文化交流・異文化融合に関する博物館、すなわちディアスポラ・ミュージアムの将来計画につながる構想を練り上げます。

また、「カルチャーウェア」の実践的な提示として、海外から日本に移住してきた10カ国の伝統的な服飾をベースとした新たなデザインの子供服約30点を、日本の子供たちが身にまとい、それぞれの伝統的デザインに関する解説と共に披露いたします。

\*カルチャーウェアは、韓国・アメリカを中心に進めているプロジェクトです。  
日本では今回が初披露となります。

# CultureWear

文化と心を身にまとう

- コーディネーター  
中牧弘允(なかまき ひろちか)  
国立民族学博物館 民族文化研究部 教授
- お問い合わせ  
国立民族学博物館 中牧研究室  
TEL: 06-6876-2151(代)  
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10 番 1 号  
<http://www.minpaku.ac.jp/>

## 高(全)恵星(コウチョンヘソン)氏 プロフィール

ソウル生まれ。ボストン大学大学院にて、社会学博士と人類学博士を取得。ボストン大学・イェール大学などで教鞭をとり、国立民族学博物館、国際日本文化研究センターで客員教授として活躍。1985年、韓国と東洋文化をアメリカに紹介し、次世代のリーダーを育成する目的で東巖文化研究所(East Rock Institute)を設立。韓国国民勲章など様々な賞を受賞し、著書に『ひとの役に立つ人間になりなさい。徳は才に勝る』(海竜社)、『ディアスポラとしてのコリアン』(新幹社)などがある。

## 関連企画「韓国伝統衣裳展」(仮称)

期間：2010年8月24日(火)～28日(土)

場所：駐大阪大韓民国総領事館 韓国文化院  
大阪市北区中崎町2-4-2(4階)  
TEL.06-6292-8760

主催：大阪韓国文化院 誠信女子大学

## 交通のご案内 \*国立民族学博物館は大阪・千里の万博記念公園内にあります。

- 大阪モノレール  
「万博記念公園駅」下車徒歩約15分  
\*本事業のみ参加される方で、自然文化園を通行される場合は、入園料が必要となります。  
ただし、国立民族学博物館の観覧券をゲートにてお買い求めになれば無料で通行できます。  
「公園東口駅」下車徒歩約15分
- バス  
〔近鉄バス〕(阪大本部前行き) 阪急茨木市駅から約20分  
J R 茨木駅から約10分「日本庭園前」下車、徒歩約15分  
〔阪急バス〕(万博記念公園駅経由千里中央行き)  
阪急茨木市駅から約20分、J R 茨木駅から約10分  
「自然文化園・日本庭園中央」下車、徒歩約5分
- 自動車  
駐車施設が無いので車の乗り入れはできません。  
万博記念公園の駐車場(有料)をご利用願います。

